



明桜中学校が目指す教育



■学校教育目標 「自立」「協働」「創造」

- 目指す生徒像
- (自立) 自分で考え、自分で判断して、正しい行動をする生徒
 - (協働) 個性や特性を生かしながら、仲間と協力して物事に取り組む生徒
 - (創造) 今までなかったものや、新たな仕組みをつくり出そうとする生徒

- 目指す学校像
- ・「主体的で対話的な深い学び」の実践を通して、生徒が主体的に学習する学校
 - ・生徒同士が良好な人間関係を築きながら、安心・安全に生活できる学校



学校経営の重点事項

1 令和の新しい学校づくり

- ・これまでの慣例にとらわれず、新たな視点での新しい学校の仕組みづくりを推進する。
- ・生徒が主体的に取り組める環境を構築するとともに、伴走者として生徒支援を十分に行う。

2 確かな学力の定着

- ・「主体的・対話的で深い学び」のために教材研究を十分に行い、授業改善や学習支援の充実を行う。
- ・学習者用端末を活用して、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実した生徒主体の授業を行う。

3 豊かな学校生活

- ・学校生活上のきまりについて、不易の部分を大切にしながらも、常に見直し、必要であればより良いものに改善していく。
- ・教職員の率先垂範により、生徒も教職員もお互いに言葉を交わし合える温かな学校の雰囲気づくりを行う。

4 生徒指導と教育相談

- ・チーム担任制の良さを十分に生かし、生徒の細かな変化を見逃さない生徒指導を行う。
- ・教職員間で情報共有や共通理解を十分に図りながら、受容的な態度で生徒に寄り添う教育相談を行う。

5 生徒の自主的な活動

- ・生徒主体の学級活動や話し合い活動を充実させ、生徒が主役の集団づくり、学校づくりを行う。
- ・部活動は「生徒の自発的な活動により、自己の能力・特性を伸ばすこと」を目指し、活動規定に基づいた安全で計画的な指導を行う。



6 地域や保護者との連携

- ・学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の設置により、地域や保護者と目指す生徒像を共通理解し、生徒の活動を支援する仕組みづくりを行う。
- ・保護者に対し、必要に応じて学校行事等へのボランティアを要請するなど、自主的に教育活動に関われる仕組みを継続する。



◆業務改善：職員一人一人が働き方改革を意識し、ICT等を有効に活用した業務改善に取り組む。

◆感染症対策：校内における感染症拡大防止のための衛生管理及び必要な対策を継続して取り組む。